

女夫石遺跡発掘調査速報

No29

今回は、もう少し巨石周辺の井戸尻式の時代の土器や土偶がどんな状態で発見されたのかを紹介합니다。もう何度も紹介してきているけど、めったに目にすることはできないものなのです。ちなみにこのような状況を確認し、調査したのは稀有の例です。女夫石縄文人の行動が生き生きとよみがえってくるようです。皆さんも想像力をふくらまして、タイムスリップしてみてくださいね！

ズリ：大きな岩の周辺から井戸尻式の土器なんかが出ていたって！完全な形のものも多いみたいだよ。

マキ：発掘されたときは横倒しになっているけど、当時は普通に立ててあったんじゃないかな～。

ズリ：でも中には、裏返した状態で発見される浅鉢（あさばち）もあるみたいだよ。入れ物として使う方を下に向けてしまうなんてどうしてだろうね？

マキ：あと、火を起こした跡もはっきりと確認されたみたいだよ。大きな岩で土器や石器を捨てる時に火をたいたのかな？火をたきながら、土器や石器の再生とかを願ったんじゃないかな？

ズリ：なんだかドラエモンの世界の話だな～？でも、発掘現場に来てみるとそんな想像をしなくなっちゃうね！（つづく）



本当にいろいろ発見されているね！ヒビなんかは入っているけど、復元すれば当時の形になるものが多いね！それにしても女夫石縄文人は、大きな岩の周りに土器・石器・土偶・石棒などを何のために捨てたり、置いたりしたんだろうね？本当に不思議です。やっぱり誕生と再生を願うのかな～。じゃあ、ここでお願いごとをすれば叶うのかな？

縄文時代のゴミ捨て場ってイメージじゃなくなったね！遺跡の中でも特徴的な巨石は、女夫石縄文人にとって、かなりインパクトがあったんじゃないかな？
磐座（いわくら）みたいなものかな？今でも、特徴的な岩を祀った神社があったりするもんね！地藏ヶ岳のオベリスクや金峰山の五丈岩も信仰の対象になっているし、女夫石縄文人にとってこの岩はきっと大切なものだったんだよ。

